



中之条で暮らす。 地域おこし協力隊

これから1年間を通して、町所属の地域おこし協力隊員の紹介や活動内容を掲載します。

地域おこし協力隊員制度とは、地方において地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

現在、町では8名の地域おこし協力隊員が活動しています。隊員は、地域の皆さんとともに中之条町を盛り上げ、活気あふれる町にしていきたいと思っています。皆さんの温かいご支援とご協力をよろしくお願いします。

5月号は、役場観光商工課所属の森下千恵さん（写真中央）を紹介いたします。どうぞお楽しみに！

隊員2名が活動期間を終えて退任します

町で活動していた地域おこし協力隊の東尚孝さんと郷原匠さんの2名が3月末で任期を終え退任しました。退任にあたり、二人からのメッセージを紹介します。



東 尚孝さん

任期中の3年間は、新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式への転換期でもありました。感染対策のため、皆さんと交流する機会が限られてしまったことは残念でしたが、とても親切な中之条町の方々とお会いでき、家族のように支えられ、また育てられた貴重な時間でした。

お世話になった方々には、感謝の言葉を重ねても足りません。

今後も、美しい中之条の人と景色など、町外の方々へ伝えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



郷原 匠さん

私はこの1年間、博物館「ミュゼ」に所属し、真田忍者に関する地域おこし活動を行ってきました。「真田忍者ツアー」（清見寺主催）や「忍者・忍術学講座」（中之条大学）などを通して、町内外の方々に最新の忍者情報をお伝えしました。また、NHK大河ドラマ『どうする家康』の制作において、ミュゼ所蔵の忍具を貸し出したり、2026年度国際忍者学会大会の誘致に成功したりするなど、中之条町の知名度を全国、そして世界に高めました。

今後も「忍者研究家」として、中之条町の発展に尽力したいと思っています。1年間、本当にありがとうございました。

問い合わせ

役場企画政策課 企画調整係 ☎75・8837（直通）

地域おこし協力隊については、町ホームページ（ID1259）をご覧ください

